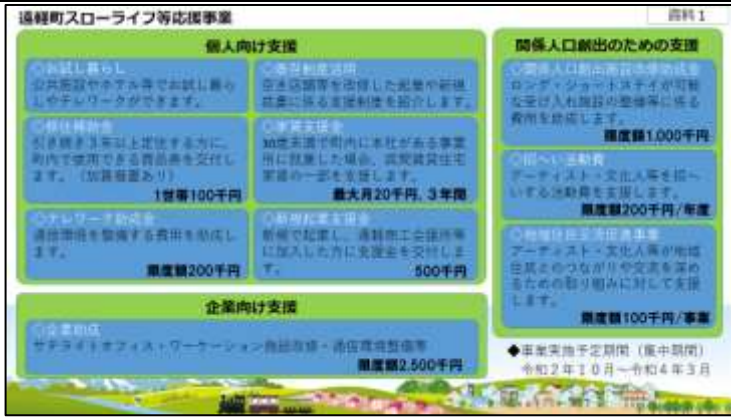


第2回遠軽地域まちづくり会議議事録

日時	令和2年10月1日(木) 18:30~21:10	
場所	遠軽町福祉センター2階2号会議室	
出席者	斉藤会長、平野副会長、藤田委員、佐渡委員、小林委員、竹之内委員、橋口委員、佐藤委員、総務部企画課 今井課長、中原主幹	
欠席者	なし	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	ただ今より令和2年度第2回遠軽地域まちづくり会議を開催する。以下の議事進行について、会長にお願いする。
	会長	全体会議に向けて活発な意見交換をお願いする。
2 報告事項	会長	報告事項について役場企画課から説明願う。
	企画課	 <p>コロナウイルス対応も踏まえた地方創生臨時交付金により約3千万円の予算で遠軽町スローライフ等応援事業として移住対策に取り組む。まちづくり会議の議論も反映されている。9月定例町議会で補正予算も議決されている。内容については調整中のため変更の可能性がある。このほか冊子製作や雑誌掲載などを想定し4百万円の予算も計上している。</p>
	会長	スローライフ等応援事業について、臨時交付金を活用した移住対策事業ということで役場で立案し、議会でも決定されて10月から進むということである。前回のまちづくり会議で私たちがまとめた若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりの「暮らし」、「テレワーク」、「家賃」の部分が網羅されている。皆さんからこれについて意見がないか。PR方法についても意見を。
	会長	町のホームページが大事ではないか。町のホームページはどれぐらい見られているか？
企画課	新しくして4月、5月ぐらいに増えて6月ぐらいに少し落ち着いた。 ※参考アクセス状況の実績値	

		2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全体	PV	-	-	28,599	216,127	184,251	104,330	124,259	138,434	109,169	
	セッション	-	-	5,584	62,719	53,208	35,467	46,720	52,803	41,619	
id=98	PV	-	-	1,351	7,223	7,563	2,696	1,642	1,400	625	
	ページ別訪問数	-	-	984	5,655	6,262	2,305	1,437	1,117	456	

ふるさと納税の情報発信でいうと、「楽天のふるさと納税」を追加する。どちらかというと、町のホームページより「ふるさとチョイス」などの申し込みサイトから遠軽町を見つけてもらう形が多い。「楽天」の解説に当たっては、デザインを札幌の会社に委託した。これとは別な予算を9月に補正予算として上げている。

委員 皆さんがクリックするのはそこじゃないと思う。災害があったとか、何か話題が上がった時に遠軽町のことをググる。そういうものに引っ掛けるのは難しいのか？表示を作り直しただけで、人が入って来るのは皆無に近いと思う。

企画課 新型コロナウイルスの関係で町のホームページへのアクセスが増えたのもそういう要因がある。ロイヤルエクスプレスも動画を町の Youtube 公式チャンネルに掲載したところ閲覧が増えた。移住・定住の関係を募集する手段は本当に難しく、上川のように頻りに新聞に出してというようなことをしていかなければ、なかなか目にしてもらえない。今回予算を上げたのは、移住・定住の専門誌が1誌あって、そこに掲載する費用として見積もった。それがいいかどうかということもあり、東京なんかは失業されている人も多くなっているの、東京の区を限定してそこでインターネット上で広告を出すとかと言った方法を考える必要がある。

委員 前回お話ししたコスモスの花びらを使ったジャムを実際に作ってみた。お配りしたのは酸味が強めなのでアイスクリームに載せるなどして食べてみてほしい。ジャムを作れると、そこからドレッシングも作ることができる。作れるということが分かったので来年はもっと広げていきたい。

委員 コスモス園でオリジナルのソフトクリームを検討している。シロップを取り寄せてと考えているが、かなり高価なので迷っている。何かに使えたらいい。

委員 花びらを集める人手さえあれば簡単に作れる。

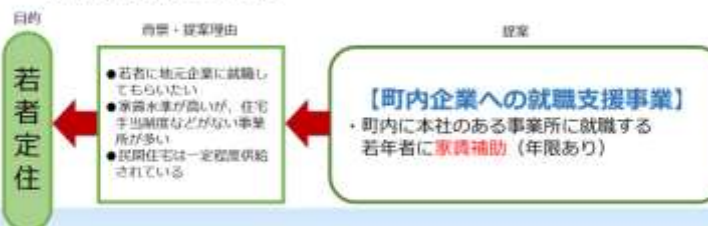
委員 イベント的にできるかも知れない。来年度に向け検討してみる。

3 議事 (1) 全体会議における報告について	会長	では議事に入る。全体会議における報告について役場企画課から説明願う。
	企画課	資料2をご覧いただきたい。まちづくり会議については今年度で終了する。その最後に全体会議を開催して、各地域からの報告をいただいてから、4つの地域の意見交換という形で締めくりたいと考えている。その報告内容について検討していただきたい。

遠軽地域まちづくり会議の討議テーマ

1. 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり
2. 合宿誘致
3. ふるさと納税の促進
4. 公共施設の見直し

1 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり



1 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり（その他の意見）

【PR方法】

- ・見せ方が大事。視覚的に伝える。
- ・「こういう人に来てもらいたい」を明確にして発信する。
- ・災害の少なさを売りにする

【しごと】

- ・求人情報をホームページに載せる。
- ・雇用のミスマッチを解消したい。
- ・高校生に仕事に触れる機会を作る。

【住まい】

- ・お試し暮らし住宅の活用

6

2 合宿誘致

- ・情報発信が重要。
- ・移動の支援が重要
- ・誘致目的が経済効果とするならば、社会人合宿だが、施設・設備の状況とマッチするか？
- ・若い人向けにトイレ、シャワー、Wi-Fi整備が必要。
- ・ケータリングサービスの充実。



3 ふるさと納税の促進

【情報発信】

- ・「無添加」などキーワードを意識
- ・受付サイトの写真の充実


【返礼品アイデア】

- ・熊の爪アクセサリー
- ・コスモスのジャムなどコスモス関連商品の開発
- ・パッケージの改善
- ・エゾシカハンティングツアー
- ・メトロプラザのホール貸し出し
- ・昆虫の里親制度
- ・かぼちゃを使った商品


4 公共施設見直しの視点

- ・旧遠軽小学校の活用
- ・テレワーカー誘致に空き施設を活用
- ・使わないものは売る（ドローンの動画で状況を発信）
- ・（公共施設外だが）瀬戸瀬温泉の活用



5 その他

- ・南中学校との合同会議
- ・情報発信にはお金をかける
- ・Youtube動画の充実
- ・来年度以降のまちづくり会議について→10/1に集約



以上、発表資料のたたき台として作成したので、検討いただきたい。

・若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり	会長	まずは「若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり」について検討したい。私は、子育て支援が大事だと思うが、皆さんから何かあるか？
	企画課	委員から資料提出があったので説明をいただいたらどうか。
	会長	資料の説明についてお願いします。
	委員	今までにお話したことや、考えたことをまとめて来たが、今日のスローライフ等応援事業や発表用資料でほぼ網羅されているという感じである。

※委員提出資料

移住・定住のキーワード

- ・ 遠軽町PR方法の全面見直し
 - ・ 遠軽町応援大使の任命によるPR活動強化
 - ・ 広告代理店等の活用による洗練されたPRの継続実施
 - ・ 地域おこし協力隊による講演会（成果発表など）
 - ・ 広く、移住希望者、協力隊予備軍に対する広報を行い、遠軽町の魅力を生の声で発信してもらう場を設け、双方のモチベーション向上を喚起する。
- ・ コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを逆手に取る
 - ・ 若年層移住希望者は、町内会などの積極的関わりは苦手であるが、コロナ禍でそのような場は激減
- ・ ①コロナ禍、②三密回避、③テレワーク、④アフターコロナ、これらを念頭に変化が求められている。
- ・ 帰ってきたくなる街づくり
 - ・ 中学生、高校生が遠軽に帰ってきたいと思う（思わせる）まちづくり
 - ・ 町内の各企業が積極的に学校に関与する方策の検討
 - ※ 遠軽高校美術部校外展を開催し活躍の場を提供など
- ・ 新規起業の呼び込み
 - ・ 移住コーディネーターによる支援拡充
 - ・ 遠軽町内での起業、営業拠点の新設に対応する環境整備
 - ・ 事務所環境、住環境の斡旋、整備
 - ・ 土地・建物の費用負担提供（3年間は安価な賃料を徴収する賃貸契約とするが、3年目の継続事業確認時に定住祝い金として、3年間の賃料相当額を贈呈するなど）
 - ・ 起業助成金の拡充（テレワーク環境整備などへの補助金）
- ・ 移住の呼び込み
 - ・ 移住コーディネーターによる支援拡充
 - ・ お試し移住制度の拡充
 - ・ 移住お試し者に対する住環境の安価提供
 - ・ 永住制度の拡充

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 永住環境の斡旋、整備 ・ 土地・建物の費用負担提供（3年間は安価な賃料を徴収する賃貸契約とするが、3年目の継続事業確認時に定住お祝い金として、3年間の賃料相当額を贈呈するなど） ・ 永住助成金の拡充（住宅取得を望まない者への家賃助成金などの拡充） <p style="text-align: center;">合宿誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠軽町PR方法の全面見直し ・ 広告代理店等の活用による洗練されたPRの継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した練習環境のPR ・ スキーはフルシーズン練習可能 ・ メトロプラザ完成に伴う合宿と合同演奏会、合同公演などの企画発信 ・ 少年スポーツ、少年文化活動への町ぐるみの関与 ・ 「見てくれている」感覚を植え付け、子供たちが自分の故郷に愛着を持つための環境整備に取り組む。（大会、公演の事前PRの実施など） ・ 道内プロスポーツチームとの連携による各種活性化（様々なノウハウの習得） <ul style="list-style-type: none"> ・ プロアスリートとの交流による活性化を期待 <p style="text-align: center;">ふるさと納税の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペットが遊ぶおもちゃ「シカのおとしもの」等は、地域に眠っていた財源であり、新たな視点で開発が必要。 <p style="text-align: center;">公共施設の見直</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク環境の無い設備は今後利用価値が減退する可能性が大きい。 ・ そのための環境整備を早急に整備する。 <p>ほかに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠軽信用金庫広報誌 ・ 絵葉書 ・ 遠軽高校美術部の作品ロビー展のチラシ <p>を参考資料として配布</p>
会長		情報発信というとラジオとか・・・
委員		ラジオだと道内向けになってしまう。

委員	今だとSNSになる。
企画課	以前に観光協会でインスタグラマーを案内するという話が出ていたが、どうだったか？
委員	今回は遠軽がメインではなかったもので、正直言ってあまり効果が測れなかった。遠軽メインでやればまた違ったかも知れない。
委員	先日テレビで3週にわたって遠軽が取り上げられていたが、あれはどうか？
委員	あれはテレビ局側の企画としてやっていて、お金は払っていない。うまくマッチングすればああいう形になる。広告としてやるなら10分100万円ぐらいかかる。
委員	自分はSNSに興味がないのだが、どうなのだろう？
委員	例えばフェイスブックで移住関係の情報を発信するとすると、フォロワーが付くには時間がかかるかも知れないが、一番いいのは手間がかかるけれども、お金がかからないこと。
委員	でも町で作るとお堅いものになるイメージがある。
委員	移住コーディネーターというワードが先に出ていたが、そういった働きをする人はいるのか？
企画課	今は企画課の職員が対応している。
委員	先ほどのスローライフの説明で広告費について出ていたが、全国誌の想定か？
企画課	全国誌。
委員	何ページか？
企画課	2ページ？それに加え冊子作成費も入っている。
委員	掲載された本は図書館などで見られる？
委員	移住に興味のある人が買って見る。全国だと結構な数になるだろう。
会長	ロイヤルエクスプレスのYoutubeの動画は検索したら出てきた。
委員	1万回といえばすごい回数。検索に結びつくまでが難しい。
企画課	例えば「コスモス」で検索するとえんがる町観光協会が出てくるイメージ。それが「移住」と入れると遠軽町の情報が出てくるようにできればいい。
委員	あれも一部買って上に出るようにしている。ウェブ広告とセットで。ターゲットをどこに広げるかもある。コスモスだと、40代～70代にといった形を取っている。移住だと20代にするとか。
会長	求人情報をホームページにということだが、全国的に見れるのでは？
委員	全国のハローワーク情報はネットで見ることができる。
会長	雇用のミスマッチとは…？
企画課	ある業種では人手不足だが、一方では、この地域にない仕事があって、そうした仕

	<p>事を求めて若い人が都市部に出てしまうといったもの。遠軽で言うと、事務仕事はあまりないが、農家、建設業、コンビニ店員などが人手不足になっている。</p> <p>事務局資料を一つずつ掘り下げるより、抜けている要素を探す方向で議論する方が資料が充実すると思う。今日の話で言えば、子育て支援というのは出ていなかったのだから加えるといったように。また「帰って来なくなる」という話も出ていたので、そういうところで加える、あとは協力隊の活用なんかも入れてもいい。</p>	
会長	待機児童とかはどうか？	
企画課	遠軽ではそんなに発生していないと思う。近くの保育所に入れられないとか、0歳児の受け入れは限られているということはあるかもしれないが。	
委員	佐呂間町は保育士の離職を防ぐために全員正職員にするとのことだ。遠軽はどうか？	
企画課	遠軽町の場合は各保育所に正職員が数名いて、ほかにフルタイムの会計年度任用職員がいて、更に代替保育士がいるという形になっている。佐呂間はそのフルタイムの会計年度任用職員を正職員に登用するという事ではないかと思う。	
委員	遠軽は人手が足りているということか。	
企画課	足りないところもあると思う。	
企画課	保育士については、都市部に流れるという傾向があると思う。	
会長	保育士の確保ということはどうか。3歳未満の託児を充実させると支援になるのでは？	
・合宿誘致について	会長	次に合宿誘致について。ケータリングとは？
	委員	例えば瀬戸瀬温泉に泊まると食事の提供はない。食事を運んでくれる業者があれば、瀬戸瀬温泉だけでなく合宿がしやすい環境になるということ。
	委員	情報発信はすごく大事だと思う。どんなチームが来ているという情報を発信すれば、一緒に練習したいというところがあるかも知れない。ただ来てくれというだけでは来ない。
	委員	情報発信も大事だと思うが、受け入れる環境の整備も必要だと思う。ホテルが使えない場合もあるので、集落センターなどを改善する必要もある。情報発信するためには受け入れ体制も整えなければならない。
	委員	情報発信というと、立派な合宿誘致の冊子を作っているのだから、そこにたどり着くまでの部分を考える必要がある。
	委員	今の若い人は Wi-Fi が整っているのがアピールポイントになるのではないかと。遠軽町にたどり着くまでの情報発信や宿泊の収容能力などの課題がある。基幹集落センターなんかも聞くところによると設備が粗末ということなので、課題は多い。

		西興部は、村に廃校利用のゲストハウス、ギター工場、鹿牧場などがあり、住宅をオレンジにすると助成金が出る。そういうセールスポイントがあってにぎわっているのかなと思う。子育てするにはとてもいい環境ということだ。
	委員	よそでやっていないことをやって貰ってほしい。
	委員	私も情報発信が重要と思う。合宿誘致は外に発信することも大事だが、大会などに町ぐるみで関与するというのが大事だと思う。町の人に大会などのことを知らせて迎え入れる体制を整え、それがこの町のいい特長になる。そういうところが変わっていくといい。
	会長	まとめとして、情報発信については、「野球、ラグビー、ソフトボール、夏冬のスキーなどを動画にしてPR」。「経済効果を得るために社会人合宿に重点を置いて取り組む」。「合宿に利用する公共施設のトイレ、シャワー、Wi-Fi 環境整備」ということでいいか。
	企画課	お話が出た中では、「メトロプラザができて吹奏楽を呼ぶ」、「サマーグレンデを生かして合宿を呼ぶ」、「大会前に周知をもっとする」、「まちぐるみで大会などを盛り上げる・関与する」などといった話が出ていたが、その辺も足すということでもいいか？
	委員	委員からの資料の部分も足してほしい。
・ふるさと納税の促進について	会長	ふるさと納税についても情報発信が重要だと思う。鹿肉の加工施設もできたようなので、そういったことも活用が図ることができるのではないかな。
	委員	返礼品で圧倒的に人気なのは食べ物。お得感のある食べ物があるといいようだ。
	企画課	遠軽の返礼品で人気なのは圧倒的にアスパラ。アスパラだけで半分を占めている。ただし、生産量が限られているため、これ以上増やせない。ほかのアイテムじゃないとこれ以上の成長は望めない。
	委員	返礼品の調達額を寄付金額の3割にすることが求められているので、地元ならではの調達額にし、お得感を出すと人気になるようだ。1位から70位が食べ物となっている。
	委員	これも情報発信が大事で、今、町で予算を取って楽天のサイト作りをしてくれている。ポータルサイトも増やしていく。町だけでなく、皆で広めていくことも大事。商工会議所では今月中に全議員の名刺の裏面にふるさと納税のアドレスを載せたものをつくる。信金さんでは「鉄印」をPRしていただくことになった。今までは町に入るものという認識だったが、入ってきたお金は町として使えるお金なので、有効に用途が分けられる。町民みんなが発信していかなければならない。
	委員	「鉄印」は森林鉄道のレールを加工したものなので、マニアは欲しいのではない

		か。
	委員	楽天に載せていくことでどうなるか期待している。目に付かなければ、寄附も増えないので、可能な限りメディアに載せていくことが必要だと思う。参考までにオホーツクえんがる産業振興協議会でアスパラフェア、白滝じゃがの愛食フェアなどをやっているが、9月20日に出たじゃらん10月号で白滝じゃがの紹介ページの下にふるさと納税のQRコードも載せた。
	委員	目に付くようにすることが大事。まったく町のことを知らない人に周知するのはすごく大変なことなので、じゃらんなどにQRコードを載せるのはいいことだと思う。
	委員	皆さんと同じく情報発信が大事だと思う。それと同時に魅力ある返礼品も大事。この場のように皆で話し合っって掘り起こす場が必要だと思う。
	会長	まとめとして、情報発信では「サイトを見やすくする」こと。「雑誌などに出す」こと。「食品が重要」なこと。「鹿肉加工品」などを検討すること「皆さんで新しい返礼品を開発する」こと。ということでもいいか。
	企画課	「ポータルサイトを増やす」が一つ。会議所の名刺やじゃらんの件のように「町だけでなく町ぐるみで情報発信をする」こと。「目に付く」ということだが、インパクトということか？
	委員	「鹿のおとしもの」のようにネーミングが大事なのかも。
	企画課	「ネーミングなどで目に付かせる」とする。返礼品では鹿肉を追加、また皆で返礼品を掘り起こす場を持つということでしょうか。
・ 公共施設の見直しについて	会長	次に公共施設の見直しについて、意見を伺いたい。
	委員	通信環境の整備というお話はそのとおりだと思う。
	委員	コロナにぶつけてテレワークはいいと思うが、どれくらい入ってくれるか？
	委員	公共施設は多いのでまとめるのは必要だと思うが、難しさもある。
	会長	遠軽、丸瀬布、白滝、生田原の似たような施設をまとめるということか？
	委員	一つの地域の東西南北にあるという意味。
	会長	確かに前回もらった資料を見て、こんなに維持していかなければならないのかと思った。
	委員	あとは、売れるものは売れるうちに売るのが一つの手。
	会長	役場では5年間の計画でどうまとめていくのか。
	企画課	これから。ただ、統廃合するとなれば、利用状況、維持費の状況、類似施設の状況を一つ一つ踏まえて検討する必要がある。だからすごく手間と時間がかかる作業になる。更にはいろいろな方から意見をいただかなくてはならない。そういう作業

		を経ないと進められないと考えている。
	委員	次回のまちづくり会議はこれを残してこれをなくすということを目的に集まるというのがいいのではないか。
	企画課	人口が減る中で施設の総量を減らさなくてはならないと町としては考えている。どれだけ減らすのかという目標が立たないと進まないのかなとも思っている。
	委員	人口が減っているので落とせるはずなのだが、やはりその場所ごとに置いておかなければならないという話になる。当時の自治会数ならわかるが、自治会も合併しているので、それだけの数は要らないとなればいいのだけど、できた時の思いがある。
	委員	民間でも施設をなくすとなると難しい。公共施設ならなおさら。
	委員	なくすのは難しい問題もあるが、実際にあまり使われていないと思う施設もある。
	委員	やらなければならないことなので、少しでも早くいるもの、いらぬものを整理して進めていただきたい。
	会長	まとめとして、将来の公共施設の数を減らす。あり方を皆で考える場を持つ。
・その他	委員	「南中学校との合同会議」については、学校に限る必要はないので「学生との意見交換」とした方がよい。
	会長	来年度以降のまちづくり会議について、意見を願います。
	企画課	まちづくり会議は5年間の設置期間が今年度で終わる。このあと会議をなくすか何らかの形で残すのか。残すならどういう形にするのか。人数の問題、地域ごとの会議としている点、会議の回数などの観点でどうしたらいいか。
	委員	続けて行った方がいいと思う。
	会長	目的はどうするか。
	委員	引き続き同じような目的でいいと思う。地域ごとというのもこれでいい。あとは会議のメンバーが同じような顔ぶれになってしまっているので新しい視点が入るといい。学生さんとお話するのは面白い。
	委員	若い職員が入ったので新しい視点を入れたいと思う。初めて公共施設の資料が出てきてこんなにかかっているの？というのが分かって、このままにはしておいては若い人が暮らせる町にならない。地域の声があって初めてなくせるということもある。若者が住み良い町にするにはそういうことも必要。来年度以降もまちづくり会議をやるのであれば、メニューを決めてやって行った方がいいと思う。
	委員	続けた方がいい。集まるのは難しいが、地域の枠を外したいという思いはある。
	委員	続けた方がいい。テーマを決めて話し合うことで、知らないことも学べる。
	委員	続けた方がいい。どんな形というのは考えようがある。目的ごとに地域を超えて話

		をするというような機会があってもいい。世代別の交流、中学生との交流、私たちも若い人の考えを知ることできる。例えば農業のことを話したかったら、農家の人を呼んで生の声を聞くとか、項目別の集まりも考えてみてはどうかと思う。
会長		まとめとして、地域おこし協力隊の成果報告。目的、視点を決めて会議を開く。世代別の交流も含めながら会議を持つということが出たと思う。
企画課		総論としては続けた方がいいということだと思う。学生さん、農家さんなどとの意見交換、目的別の会議、地域の枠を外すということを付帯意見のような形で入れ込むという感じかと思う。
会長		企画課では、やるというのは決まっていないのか。
企画課		決まっていないが、他の地域でも続けた方がいいという意見が多い。なので、皆さんはできれば公募に応じる形で参加していただきたいと思う。
会長		全体会議の時期は？
企画課		12月ぐらいだと思う。
会長		来年度予算はもうやっている？
企画課		予算は11月上旬ぐらいまでになる。
会長		報告については副会長にお願いしたい。
委員		わかった。
(2) その他	企画課	最後に、アイルランドフェアのご案内をする。10月10日、11日に道の駅遠軽森のオホーツクで、アイルランドフェアを開催する。来年に延期になったオリンピック・パラリンピックでアイルランドとホストタウンということで登録を予定している。今回はキックオフイベントとして町民の皆さんにアイルランドを身近に感じてもらいたいと考えている。アイリッシュビーフのバーベキュー、ビール、ウィスキーなどを楽しんでいただきたい。
4 閉会	企画課	これで会議を終了する。全体会議に向けて準備を進めて行く。

21 : 10 頃終了